とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年9月24日
クラス名（年齢）	ひよこ（　0　歳児）
年間テーマ	環境

1、活動テーマ

＜テーマ＞

・秋の自然を見たり触れたりする

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・夏から秋に移り変わる時期の自然を見られるようにした

2、活動スケジュール

・テラスでヤモリをつかまえ、間近で見る
・米の稲穂と、彼岸花が咲いているのを見る
・柿の木になっているまだ青い実を見る

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・透明の容器　・散歩に出かける用意

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・テラスの日陰で涼んでいたヤモリをつかまえ、間近で見られるようにした
・年長児が育てている米の稲穂がたわわに実っている様子と、その隣に彼岸花が咲いているのを見た
・近隣に散歩に出かけ、柿の木にまだ青い実がたくさんなっているのを見た

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・小さなヤモリがテラスに遊びに来ていたので、つかまえて透明の容器に入れて代わる代わる近くで見た。小さな生き物を不思議そうに見ていた。 ・彼岸の頃になると急に秋めいた気温になり、年長児が育てている米の稲穂がたわわに実り、その隣にはそれまで蕾にも気づかなかった彼岸花が一気に咲いたので、その様子を間近に見た。そっと触ってみたり、じっと見たりしていた。 ・散歩に出かけると、柿の木にまだ青く小さな柿の実がたくさん実っていた。葉の色と同じような色なので、抱っこをしてよく見えるようにした。すると手を伸ばして触ろうとしていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・記録的な暑さの夏だった。いったいいつまで夏が続くのだろうかと思っていたところに、急に秋がやってきた。季節が変わることを植物は待っていて、その様子を間近に見て、さらにそれに触れることができる環境なので、たくさんの秋の自然の訪れを感じることが出来た。子ども達は不思議そうに見るだけだが、これからも季節の移り変わりを一緒に感じられるようにしたい。